

講義：本紙赤枠表示内の指定時間を超える視聴、テストは選択式：80%以上の得点、記述式：提出が修了条件です。
 e-ラーニングシステムの目次画面で、該当項目名の右側に受講済みマークがついたらチェックを入れましょう！
 <講義を視聴してからマークが表示されるまで、数分かかる場合があります>



テーマ・内容	講義時間 講義のみ (分)	講義時間 テスト等を含む (時間)	講師 (敬称略)	受講済チェック欄		
				講義	テスト (選択式)	テスト (記述式)
【e-ラーニングⅠ】						
1.医療安全の考え方			冒頭挨拶：小泉 俊三 (一般社団法人 医療安全全国共同行動 専務理事)			
1-1.日本における医療安全の動向	70		鮎澤 純子 (九州大学 大学院 医学研究院 医療経営・管理学講座 准教授)			
1-2.日本医療機能評価機構の取り組み 事故防止事業部の機能ほか	64	3	後 信 (公益財団法人 日本医療機能評価機構 理事/九州大学病院 医療安全管理部)			
2.日本における医療安全の政策 日本の医療安全の基本的知識ほか	62	1.5	小林 美雪 (健康科学大学 看護学部 成人看護学 准教授)			
3.事故発生メカニズム 事故の構造、ヒューマンエラーの防止ほか	97	2	河野 龍太郎 (自治医科大学 医療安全学教授 メディカルシミュレーションセンター センター長)			
4.医療における業務プロセスと標準化 プロセス指向、組織的な標準化と改善ほか	91	2	棟近 雅彦 (早稲田大学 理工学術院 教授)			
5.医療安全の啓発と教育 医療安全の質・安全教育ほか	92	2	棟近 雅彦 (早稲田大学 理工学術院 教授) 梶原 千里 (早稲田大学 創造理工学研究所)			
6.【医師・薬剤師対象】						
6A-1.医薬品に関する医療安全の現状	35	2	立沢 正臣 (順天堂大学医学部附属練馬病院 薬剤科)			
6A-2.医療安全管理者に求められる医薬品の安全管理～最近の話題を中心に～	27		立沢 正臣 (順天堂大学医学部附属練馬病院 薬剤科)			
6B.【医師・薬剤師以外対象】 医薬品の安全管理	89	2	荒川 隆太郎 (刈野辺総合病院 薬剤部長)			
7.医療機器の安全管理	101	2	小林 剛志 (平塚共済病院 臨床工学科 医療機器安全管理責任者/一般社団法人 神奈川県臨床工学技士会)			
8.臨床現場におけるエラーや事故 プロセス型の事故、医療者間のコミュニケーション、転倒・転落をシステムで考えるほか	181	3.5	杉山 良子 (一般社団法人 医療安全全国共同行動 改善アドバイザー) 黒川 美知代 (武蔵野赤十字病院 看護部 看護師長)			
9.医療の質改善の考え方 業務改善の意義と実際	63	1.5	井上 則雄 (竹中工務店 大阪本店 品質管理部)			
10.事故発生時の対応						
10-1.医療安全における法的問題	90	3.5	伊東 亜矢子 (三宅坂総合法律事務所/弁護士)			
10-2.重大事故発生時の組織的対応	59		河上 章恵 (武蔵野赤十字病院 医療安全推進センター 患者相談室 室長/医療メディエーター)			
11.患者・家族とのパートナーシップによる医療安全 患者参加の方法ほか	59	1.5	山内 桂子 (東京海上日動メディカルサービス株式会社 メディカルリスクマネジメント室)			
12.危険予知トレーニング (KYT)	98	2	杉山 良子 (日本赤十字社 医療事業部 医療安全課)			
13.海外からの学びを活かす 手指衛生、医療安全全国共同行動、チーム医療	129	2.5	種田 憲一郎 (WHO西太平洋地域事務局)			
14.高齢者ケア及び在宅ケアにおける安全	51	1.5	湯本 晶代 (千葉大学大学院 看護学研究所 訪問看護学専門領域 助教)			
15.高いリスクと、信頼の中で 安全な医療への終わりのなき取り組み	91	2	長尾 能雅 (名古屋大学医学部附属病院 副院長 医療の質・安全管理部 教授)			
16.医療事故調査制度	69	1.5	長尾 能雅 (名古屋大学医学部附属病院 副院長 医療の質・安全管理部 教授)			
17.医療安全管理者としての役割と実践	70	1.5	黒川 美知代 (武蔵野赤十字病院 看護部 看護師長)			
【e-ラーニングⅡ】						
[演習1.の事前学習] 事例分析の意義と手法	190	3	河野 龍太郎 (自治医科大学名誉教授/株式会社 安全推進研究所 代表取締役所長)			
[演習2.の事前学習] 医療安全研修計画の作成、ほか	246	5	杉山 良子 (医療安全全国共同行動 企画委員/パラマウントベッド株式会社 顧問/看護師) 原田 賢治 (国立大学法人東京農工大学 保健管理センター 教授)		課題あり (紙面に記述)	
【オンライン演習 (Live)】						
演習1. 事例分析の意義と手法 (ImSAFERの演習)	240	4	河野 龍太郎 (自治医科大学名誉教授/株式会社 安全推進研究所 代表取締役所長)			
演習2. 医療安全研修計画の作成、ほか	180	3	杉山 良子 (医療安全全国共同行動 企画委員/パラマウントベッド株式会社 顧問/看護師) 原田 賢治 (国立大学法人東京農工大学 保健管理センター 教授)			
【医師・薬剤師の場合】 総時間数	2455	50.5	e-ラーニング33時間55分+オンライン演習7時間 = 研修時間合計40時間55分+テスト等9.75時間			
【医師・薬剤師以外の場合】 総時間数	2482	50.5	e-ラーニング34時間22分+オンライン演習7時間 = 研修時間合計41時間22分+テスト等9.25時間			

※ やむを得ない事情によりテーマ・講師が変更になる場合があります

※ 教材内の講師情報は収録時のものです